

学 部		小学部		学 年		4年	
教科等名		音楽		グループ名		学年	
ねらい		・感じたことを音楽表現するために必要な技能を、身に付ける。 ・感じたことを表現したり、演奏を楽しんだりして、音楽の楽しさを味わうことができる。 ・音や音楽に楽しく関わり、教員や友達と音楽活動をする楽しさを感じるとともに、身の回りの様々な音楽に興味をもちながら親しむ態度を養う。					
担当教員		○久木崎 未希 番田 洋子 木村 涼香 小林 幹太 立山 史織 松田 喜代美 堀井 活人					
予定授業時数		74					
使用教科書		東京書籍 おんがく☆☆					
月	単元(題材)名	★	主な学習内容	ねらい(評価の観点)		指導の工夫	
4 5 6 7	季節を感じて歌おう (聴こう・サインで表現しよう) 【歌唱】		・校歌、季節の歌、行事の歌 「ぱぱぱのうた」「はるがきた」など	・曲名や歌詞に使われる言葉と、曲のイメージとの関わりに気付く。 ・自分の声の大きさや発声を意識して、思いに合った心地よい歌い方で歌う。		・身振りサインにより、主体的に音楽に関わったり、歌われている情景を感じとったりできるようにする。	
	リズムを鳴らそう 音を鳴らそう 【器楽】		・打楽器、旋律楽器の演奏 「おもちゃのチャチャチャ」 「いろいろなだがつき」など	・リズム、強弱、演奏方法による音色の違いに気付き、それらを生かして表現する。		・リズムや強弱を強調して示範する。	
	拍子を感じて表現しよう 【身体表現】		「雨の日には雨の歌」「じゃんけんぼん」など	・拍やリズムを意識して、思いに合った体の動きで表現する。		・児童に合ったテンポで行い、大きく簡単な動作で示範する。	
	オーケストラの演奏を鑑賞しよう 【鑑賞】	○	・タブレット端末を使用して、演奏を視聴する。 「大きな古時計」など	・いろいろな楽器や、独自のリズム・音階に興味をもつ。		・映像と合わせて、音楽に興味がもてるような動画を選ぶ。	
9 10 11 12	リズムを感じて歌おう (聴こう・サインで表現しよう) 【歌唱】		・交流会の歌、学習発表会の歌、季節の歌「みなみのしまのハメハメハだいおう」 「おしょうがつ」「小さな世界」など	・曲の雰囲気と曲の速さや強弱との関わりに気付く。 ・範唱を聴いて曲の一部を歌ったり、歌詞やリズムを意識して歌ったりする。		・旋律やリズムをはっきり伴奏する。 ・歌詞カードやイラストで、曲のイメージをもちやすくする。	
	いろいろな拍子を鳴らそう 【器楽】		・旋律楽器や打楽器で演奏する。「山の音楽家」「どれみであいさつ」など	・拍のリズム(3拍子、4拍子、2拍子など)や簡単な旋律を意識して演奏する。 ・簡単な楽譜を見て演奏する。		・児童に合った分かりやすい楽譜を用意する。	
	身近なもので遊ぼう 【音楽づくり】		・リズムを組み合わせよう	・音を選んだりつなげたりして表現する。		・児童の気付きや発想を受け止め、広げるよう支援する。	
	リズムや雰囲気を感 じて表現しよう 【身体表現】		・音楽に合わせて体を動かす。「エビカニクス」「どれみのうた」など	・音や音楽を聴いて様々な体の動きで表現する。		・児童の自由な表現を多く引き出せるようにする。	
	クラシック鑑賞をし よう 【鑑賞】	○	・タブレット端末で、金管楽器や木琴の演奏視聴 「くらりねっとぼるか」など	・曲についての知識を得たり生かしたりしながら、曲や演奏の楽しさを見出して聴く。		・興味がもてるよう、耳にしたことがある有名な曲を使用する。	
1 2 3	季節を感じて歌おう 【歌唱】		・卒業式、入学式の歌「国歌」「校歌」など季節の歌など ・掛け合い「森のくまさん」	・教員や友達と発声を合わせて歌う。 ・範唱や伴奏をよく聞き、歌詞やリズムを意識して歌う。		・歌詞やリズムが覚えやすい曲を使用する。	
	合奏しよう 【器楽】		・「ゆきのおどり」「ちゃちゃちゃはすばらしい」「しろくまのじえんか」など	・教員や友達の楽器の音を聴いて演奏する。		・音を出すタイミングをわかりやすく示す。	
	みんなで一緒に表現 しよう 【身体表現】	○	・音楽に合わせ、友達と一緒に踊る。「よーいやす」など	・教員や友達と動きを合わせて踊る。		・リズムに乗った言葉掛けで、動作を分かりやすく言語化する。	
	生演奏を鑑賞しよう 【鑑賞】		・教員の演奏を鑑賞する。 輪唱、連弾など ・民謡、民族音楽 「あかたすんどうんち」など	・本物の楽器演奏を見聞きし、音の振動や迫力を真近で感じる。		・普段教室にない楽器も使用する。	

※タブレット端末を活用する予定の内容については、★欄に○をつけています。